Area 1 枚方八景

淀川の四季

古来、淀川は「母なる川」として沿岸の歴史や文化をはぐくんできました。数多くの動植物が棲みつき、その美しさは文政九（一八二六）年に通ったシーボルトも紀行文の中で称賛したほどです。江戸時代、枚方は舟運の中継港として賑わっていました。河川敷は現在、公園として整備され、子どもたちが遊ぶ賑やかな声が聞こえます。春にはカラシ菜が堤防を黄色に染め、夏には蒲の穂、秋には曼珠沙華、冬には水鳥が群れて飛び交い、四季折々に私たちの目を楽しませてくれます。

アクセス／京阪電鉄「枚方公園」駅「枚方市」駅「御殿山」駅「牧野」駅「樟葉」駅でそれぞれ下車、淀川（西）へ徒歩

Area 2 枚方八景

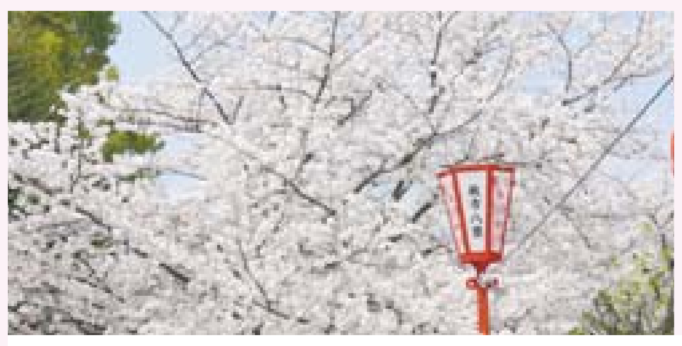
樟葉宮跡の杜

『日本書紀』によると、越前（福井県）の三国から迎えられた、後の継体天皇は西暦五〇七年に樟葉で即位し、五年にわたり宮を営んだとされています。石灯籠が並ぶ参道を進み、左に曲がって木造の鳥居をくぐると、拝殿の向こうに室町時代の一間社流造で桧皮葺の交野天神社本殿と末社八幡神社本殿が見え、杜の中を奥へ進むと貴船神社が鎮座する小丘へと続きます。この小丘周辺が樟葉宮跡伝承地として大阪府史跡に指定されています。太古からの原生林の姿を残し、かすかな木漏れ陽は訪ねる人を遠く古代に誘います。

アクセス／京阪電鉄「樟葉」駅下車、京阪宇治交通バスで「長沢」バス停下車、北西へ徒歩約3分

Area 3 枚方八景

牧野の桜



牧野公園は、桃山時代の華麗な建築を伝える片埜神社（牧郷一之宮）の北側にあります。このあたりは交野ヶ原と呼ばれ、平安時代桜の名所として都の貴族たちに親しまれ、多くの歌も詠まれました。在原業平が、惟喬親王とともに渚院を訪ね、咲き誇る桜を見て次のように詠んでいます。

世の中にたえて桜のなかりせば　春の心はのどけからまし

『古今和歌集・伊勢物語』

今も春には桜が咲き競い、市民の憩いの場になっています。

アクセス／京阪電鉄「牧野」駅下車、東へ徒歩約5分

Area 4 枚方八景

山田池の月

大阪府営山田池公園の中にある山田池は、約一〇ヘクタールあり、府下でも有数の大池で、かんがい用のため池として作られました。池のすぐそばでは、弥生時代から古墳時代の住居跡や土器などが発見され、古い土地柄を物語っています。池の周囲には深い木立や竹林があり、花菖蒲が咲き、草原があり、変化に富んだ景色を見せてくれます。満々と水をたたえる水面に映る月は、また格別の趣で、一年を通じて花が咲き、風雅と自然が楽しめる憩いの場でもあります。

アクセス／京阪電鉄「枚方市」駅北口より京阪バス、またはJR片町（学研都市）線「長尾」駅より京阪バスで「出屋敷」バス停下車、徒歩約2分

枚方市の花 桜 の主な名所案内

14 楽寿荘

MAP A-4

市立老人福祉センター「楽寿荘」の庭は、ソメイヨシノや八重桜など数十本が咲き誇る桜の名所となっています。

12 以楽公園・香里団地桜並木

MAP B-4

池泉回遊式の日本庭園の以楽公園とその南東に続く香里団地の桜並木は枚方八景の一つでもあります。

9 百済寺跡公園

MAP B-4

枚方八景にも選ばれている百済寺跡は、桜の開花のころには遠方からも花見客で賑わいます。

6 牧野公園

MAP C-2

枚方八景の一つ「牧野の桜」は、桜の季節には多くの市民が訪れる憩いの場になっています。

3 船橋川堤防沿い

MAP C-2

淀川水系・一級河川にも指定されている船橋川。春には、川沿いに桜が咲き誇ります。

13 桜公園

MAP B-4

香里団地内の「桜公園」は、その名のとおり60本近くの桜が咲き誇り、地域の花見スポットとなっています。

10 水面廻廊

MAP A-4

旧枚方宿西側の運河に整備された「水面廻廊」はソメイヨシノをはじめ、里桜・しだれ桜などが水路に美しく映えます。

7 御殿山公園

MAP B-3

御殿山公園は、御殿山神社に隣接する桜の名所で、淀川と対岸の山並みが見渡せます。

4 王仁公園

MAP D-3

テニスやプールで賑わう王仁公園は秋には紅葉が、そして春は桜が見事です。

1 市民の森

MAP C-1

このあたりは平安時代に、貴族の遊猟地として伝わり、豊かに水をたたえる鏡伝池が今も残ります。

11 ひらかたパーク

MAP B-4

枚方を代表するアミューズメント施設。観覧車へ続く坂道にソメイヨシノが咲き誇ります。(要入園料)

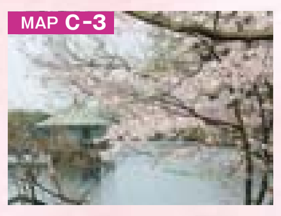
8 天野川堤防沿い

MAP B-3

天津橋から国道1号線まで続く桜の名所で、ソメイヨシノや里桜など約200本の桜が咲き誇ります。

5 山田池公園

MAP C-3



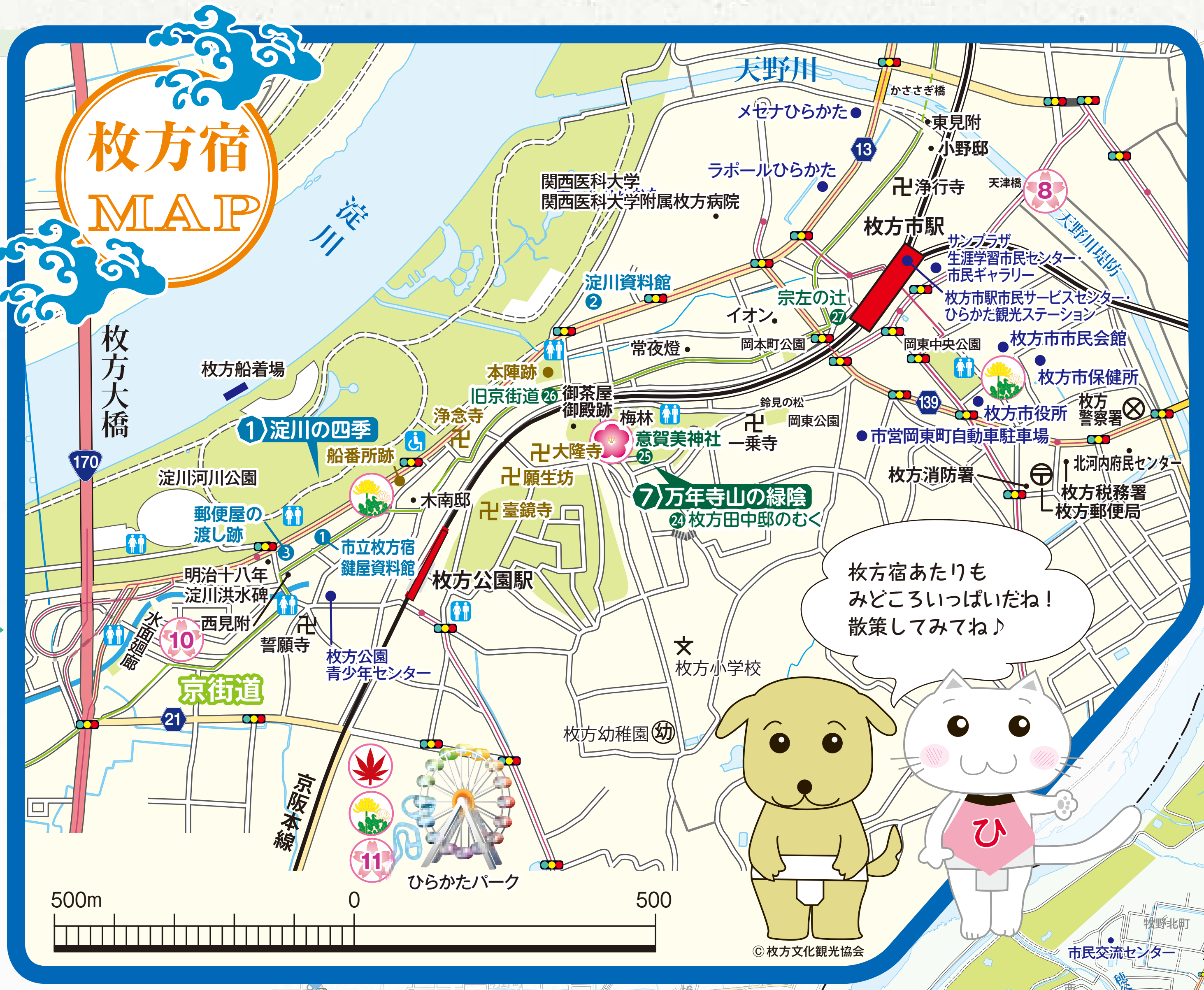
四季折々の花が見られる自然豊かな公園の春は、約110本の桜が満開になります。

2 楠葉東公園

MAP C-2

広大な敷地に遊歩道のある公園で、春には桜を見ながらウォーキングを楽しむことができます。

枚方宿MAP


天野川
淀川
メセナひらかた
ラポールひらかた
かささぎ橋
東見附
小野邸
浄行寺
天津橋
関西医科大学
関西医科大学附属枚方病院
枚方市駅
淀川資料館
宗左の辻
本陣跡
常夜燈
イオン
枚方市市民会館
枚方市保健所
枚方市役所
枚方警察署
市営岡東町自動車駐車場
北河内府民センター
枚方消防署
枚方税務署
枚方郵便局
枚方船着場
枚方大橋
1 淀川の四季
浄念寺
船番所跡
旧京街道
御茶屋御殿跡
大隆寺
願生坊
意賀美神社
壹鏡寺
木南邸
7 万年寺山の緑陰
枚方田中邸のむく
淀川河川公園
郵便屋の渡し跡
市立枚方宿鍵屋資料館
枚方公園駅
明治十八年淀川洪水碑
西見附
枚方公園青少年センター
京街道
京阪本線
枚方小学校
枚方幼稚園
ひらかたパーク
500m　0　500
枚方宿あたりもみどころいっぱいだね！散策してみてね♪
© 枚方文化観光協会

枚方宿

江戸時代、枚方は徳川御三家の紀州候も宿泊した街道の宿場町でした。公用の旅に必要な人足や馬を調達し、人や荷物を次の宿まで運ぶために整備された中継地のことを「宿」といいます。このエリアには江戸時代は船待ち宿、昭和、平成は料亭と代々続いた老舗「鍵屋」など、淀川水運の港としても栄えた往時を偲ばせる建物が現存しています。

本陣跡（三矢公園）

本陣とは公家、大名などが休憩・宿泊する施設です。枚方宿本陣は、池尻善兵衛家が本陣職を務めました。

船番所跡

淀川を通った船を監視したのが船番所です。幕府が認めた手形を持つ「過書船」と後に認められた「伏見船」それぞれの船番所がありました。

浄念寺

明応4（1495）年、蓮如上人の弟子・岩見入道浄念が開祖という西本願寺の門跡御坊。浄土真宗本願寺派。

大隆寺

天正3（1575）年、日承上人の開基。境内からは、枚方寺内町「油ヤ与左衛門」のものとされる大瓶が見つかっています。日蓮宗。

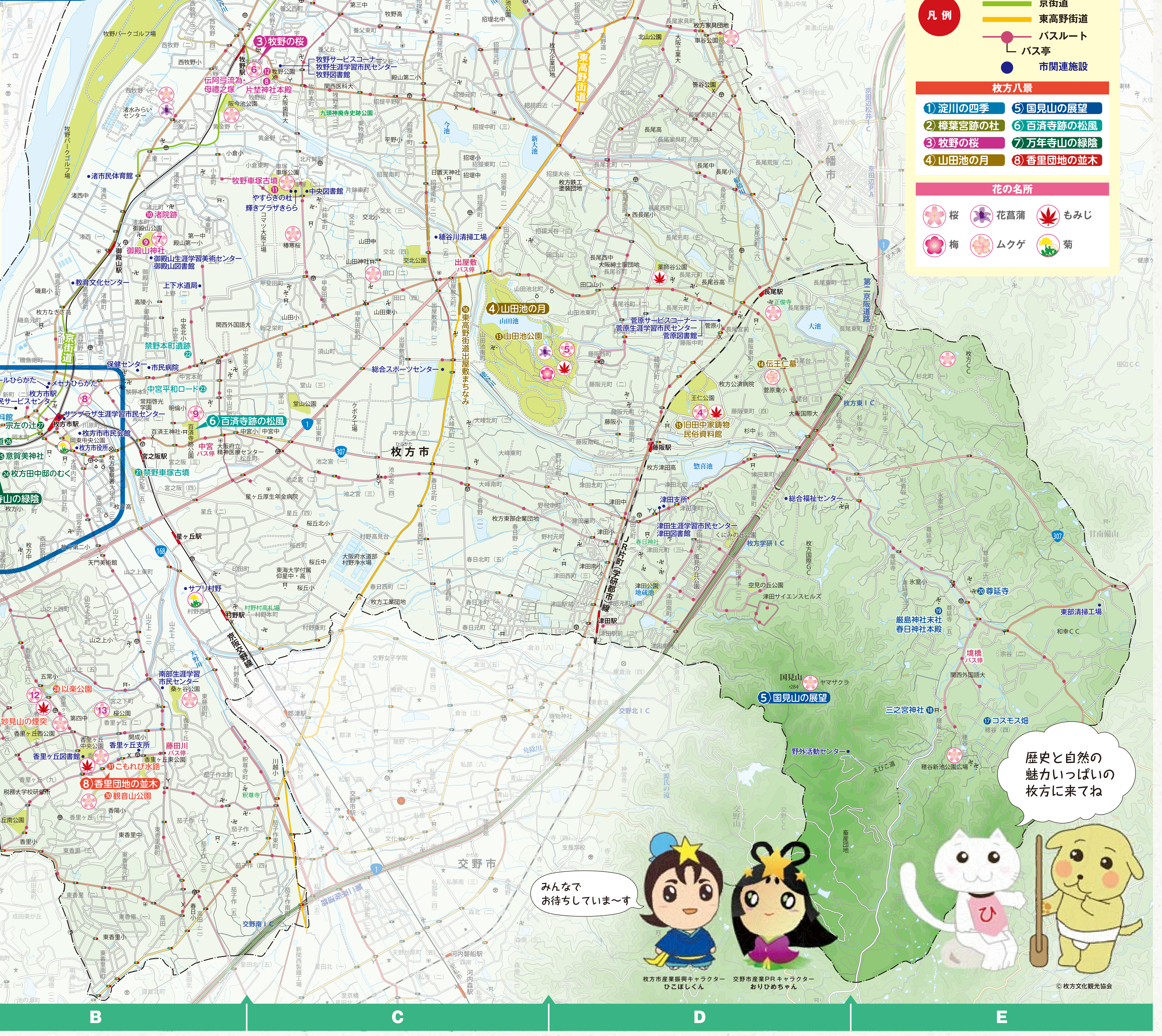
壹鏡寺

永禄2（1559）年、明誉願生上人が開祖。境内の石造地蔵立像は足下が少し汚れていて、夜になると修行に出るといわれ「夜歩き地蔵」と呼ばれています。浄土宗。

願生坊

蓮如上人が基礎をおこし、その子・実従が入寺した枚方寺内「順興寺」が焼失。慶長16（1611）年、現在の場所に本山の別院（枚方御坊）として再興され、後に改称されました。浄土真宗大谷派。

市の花「菊」


1　2　3　4　5
A　B　C　D　E
1 淀川の四季
2 樟葉宮跡の杜
3 牧野の桜
4 山田池の月
5 国見山の展望
6 百済寺跡の松風
7 万年寺山の緑陰
8 香里団地の並木
枚方市
高槻市
寝屋川市
交野市
八幡市
京街道
東高野街道
1:25,000
500m　0　500　1000　1500
歴史と自然の魅力いっぱいの枚方に来てね
みんなでお待ちしていま～す
枚方市産業振興キャラクター ひこぼしくん
交野市産業PRキャラクター おりひめちゃん
© 枚方文化観光協会

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）及び数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）を使用した。（承認番号　平25情使、第800号）

凡例

- 京街道
- 東高野街道
- バスルート
- バス亭
- ● 市関連施設

枚方八景

- 1 淀川の四季
- 2 樟葉宮跡の杜
- 3 牧野の桜
- 4 山田池の月
- 5 国見山の展望
- 6 百済寺跡の松風
- 7 万年寺山の緑陰
- 8 香里団地の並木

花の名所

- 桜
- 花菖蒲
- もみじ
- 梅
- ムクゲ
- 菊

Area 5 枚方八景

国見山の展望

標高およそ三〇〇メートルの国見山は、今から五〇〇年前に津田周防守正信が砦を築いたといわれています。その山頂からは枚方のまちなみが一望でき、木津川・宇治川・桂川の合流地点をへだてた北東には京都の市街が広がり、その向こうに比良・比叡のひときわ高い山容を望むことができます。また、天気の良い日には淀川の下流の方向に六甲山や大阪湾が見えることも。穂谷方面には野外活動センターがあり途中から白旗池や交野山、くろんど池方面へのハイキングコースとなっています。津田方面からは、途中、山桜の下にウッドデッキが設置され、森林浴を楽しめます。

アクセス／JR片町（学研都市）線「津田」駅下車、山頂まで徒歩約1時間

Area 6 枚方八景

百済寺跡の松風

中宮にある特別史跡百済寺跡は、八世紀後半に百済王の末裔である百済王氏が、難波からこの地に移り、一族の氏寺として建立した寺跡と考えられ、昭和一六（一九四一）年に国の史跡に指定、昭和二七（一九五二）年に特別史跡となりました。昭和四十年代に全国でも初めての史跡公園として整備され、寺の遺構が復原された公園は、礎石などがよく残り、双塔式の美しい伽藍配置をうきたたせ、金堂にとりつく回廊跡には低木が植えられています。樹木の濃い緑に包まれて、松の梢をわたる風は、訪れる人々に在りし日の七堂伽藍の面影を語りかけるようです。

アクセス／京阪電鉄「枚方市」駅南口より京阪バス、「中宮」バス停で下車、徒歩約1分、京阪電鉄交野線「宮之阪」駅から徒歩約7分

Area 7 枚方八景

万年寺山の緑陰

淀川沿いに細長くのびる旧枚方宿を見おろし、緑に包まれて突き出た丘が万年寺山です。摂津・丹波の山々や、淀川を一望できるこの丘には、古墳時代前期の「万年寺山古墳」があり、青銅鏡八面が出土しました。万年寺は推古天皇の時代、高麗の僧・恵灌が、この地の風景が勝れているのを愛で、草庵を営んだのが始まりです。明治の神仏分離令により廃寺となり、現在は意賀美神社の境内で、紅白梅が多く植えられ観梅の名所となっています。梅林の西には豊臣秀吉の御茶屋御殿跡展望広場があり、素晴らしい眺望が楽しめます。

アクセス／京阪電鉄「枚方市」駅下車、南西方向へ徒歩約15分

Area 8 枚方八景

香里団地の並木

緑の丘陵と田畑が、昭和一四（一九三九）年に陸軍の香里製造所となり、戦後ニュータウンが計画され、昭和三十年代に現在の香里団地に姿を変えました。長い年月が経ち、街路樹は大きく育ちました。なかでも「けやき通り」のけやき並木は、春は萌え立つ若葉の色、秋は紅葉して青空に映え、「いちょう通り」のいちょう並木は黄色で秋を彩ります。開成小学校正門前の南京櫨はまるで臘細工の美しさ、夾竹桃の花あふれる通りや、第四中学校前の見事な桜並木など見どころがいっぱい。

アクセス／京阪電鉄「枚方市」駅南口より京阪バスで「藤田川」バス停下車